

2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月28日

上場会社名 株式会社メルカリ 上場取引所 東
 コード番号 4385 URL <https://about.mercari.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 山田 進太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 SVP of Corporate (氏名) 江田 清香 TEL 03 (6804) 6907
 兼 CFO
 四半期報告書提出予定日 2023年5月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	127,913	16.6	11,529	-	11,732	-	5,056	-
2022年6月期第3四半期	109,701	42.7	△4,686	-	△4,753	-	△7,708	-

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 5,051百万円 (-%) 2022年6月期第3四半期 △7,096百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	31.38	30.92
2022年6月期第3四半期	△48.27	-

(注) 2022年6月期第3四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	392,594	45,146	11.1
2022年6月期	339,862	37,998	10.8

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 43,482百万円 2022年6月期 36,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年6月期	-	0.00	-	-	-
2023年6月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	15.6	13,500	-	13,800	-	8,300	-	51.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期3Q	161,653,459株	2022年6月期	160,813,967株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	103株	2022年6月期	103株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期3Q	161,140,655株	2022年6月期3Q	159,686,087株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予測等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として保証するものではありません。なお、将来予測情報については、添付資料（P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）に記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2023年2月1日に発表した新グループミッション「あらゆる価値を循環させ、あらゆる人の可能性を広げる (Circulate all forms of value to unleash the potential in all people)」の実現に向け、筋肉質でグローバルな事業基盤を構築し、成長と収益のバランスを意識した経営を行うことを当期の事業方針に掲げております。また、CtoCとBtoC、そしてMarketplaceとFintechのシナジー創出による更なる成長を目指しております。

Marketplaceでは、「CtoCとBtoCの連携強化を通じた出品増」を当期の事業方針として取り組んでおります。当第3四半期は、新規ユーザ獲得及び獲得後の出品促進施策に注力した結果、MAU（注1）は第2四半期比で73万人増加し2,226万人、GMV（注2）成長率は前年同期比+8%となりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるGMVは7,299億円となりました。Fintechでは、「グループシナジー強化による循環型金融の促進」を当期の事業方針として取り組んでおります。引き続きCreditサービスが成長を牽引し、「定額払い」を中心とした既存サービスの伸長に加え、「メルカード」による利用も加わり、債権残高（注3）は1,000億円を突破しました。債権回収率（注4）においても安定的に推移しております。注力している「メルカード」の発行枚数は、3月末時点で65万枚を突破し、3月9日より開始した「メルカリ」内でビットコインの売買ができるサービスの取引口座開設数も10万を突破するなど、好調に伸長しております。

以上の結果、「メルカード」への投資額が増加しましたが、既存事業において投資規律の浸透や費用の見直し及び不正利用の正常化によって増益となったため、Japan Regionの当第3四半期連結累計期間においては売上高89,880百万円（前年同期比20.2%増）、セグメント利益25,987百万円（前年同期比134.9%増）となりました。

USでは、「出品と購入両方の促進に向けたプロダクトの磨き込みに注力」を当期の事業方針として取り組んでおります。高水準のインフレの影響で消費者が生活必需品への支出を優先していることや、一次流通で積極的な値引きが行われている影響によるオンライン・リユース市場への逆風が継続しております。以上の結果、GMVは当第3四半期連結累計期間において前年同期比で92百万米ドル減少し787百万米ドル（1,081億円。月次平均為替レート換算での積み上げ）、売上高は34,085百万円（前年同期比10.2%増）となりました。一方、より筋肉質な経営に向けた費用の見直しを行い、セグメント損失は7,628百万円（前年同期は9,748百万円の損失）となりました。

これらの結果、全体として当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高127,913百万円（前年同期比16.6%増）、営業利益11,529百万円（前年同期は4,686百万円の損失）、経常利益11,732百万円（前年同期は4,753百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,056百万円（前年同期は7,708百万円の損失）となりました。

(注)

1. 「Monthly Active Users」の略。1ヶ月に1回以上アプリ又はWEBサイトをブラウジングしたユーザの四半期平均の人数。
2. 「Gross Merchandise Value」の略。流通取引総額のことを指す。
3. 四半期末時点における「メルペイスマート払い（翌月払い・定額払い）」と「メルペイスマートマネー」の債権残高（破産更生債権等を除く）。
4. 11ヶ月前に請求を行った「メルペイスマート払い（翌月払い・定額払い）」と「メルペイスマートマネー」の金額に対して11ヶ月以内に回収を完了した四半期累計の加重平均割合（破産更生債権等を除く）。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては、前連結会計年度末に比べ52,732百万円増加し、392,594百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・現金及び預金は、主に未収入金の増加25,278百万円、預り金の増加21,748百万円、差入保証金の増加29,999百万円、借入金の増加20,752百万円に伴い、前連結会計年度末に比べ15,850百万円減少しております。
- ・未収入金は、主に「メルペイスマート払い（翌月払い・定額払い）」の利用増加に伴い、前連結会計年度末に比べ25,278百万円増加しております。
- ・差入保証金は、主に「メルカリ」及び「メルペイ」の利用金額の増加に伴い、法令に基づいた供託を実施したことにより、前連結会計年度末に比べ29,999百万円増加しております。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ45,584百万円増加し、347,448百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・借入金は、主に翌月払い及び定額払い債権の流動化を実施したことにより、前連結会計年度末に比べ20,752百万円増加しております。
- ・預り金は、主に「メルカリ」及び「メルペイ」の利用金額の増加に伴い、前連結会計年度末に比べ21,748百万円増加しております。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ7,148百万円増加し、45,146百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・資本金は、新株発行に伴い、前連結会計年度末に比べ803百万円増加しております。
- ・資本剰余金は、新株発行に伴い、前連結会計年度末に比べ803百万円増加しております。
- ・利益剰余金は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、前連結会計年度末に比べ5,056百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、2023年6月期（2022年7月1日～2023年6月30日）における通期業績の予想を開示しております。詳細につきましては、本日発表の「2023年6月期通期業績予想のお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	211,406	195,555
売掛金	4,454	6,223
有価証券	—	5,651
未収入金	80,287	105,565
前払費用	2,805	2,267
預け金	7,093	2,574
その他	2,156	14,055
貸倒引当金	△4,807	△4,888
流動資産合計	303,396	327,005
固定資産		
有形固定資産	3,462	3,077
無形固定資産	666	600
投資その他の資産		
投資有価証券	117	349
敷金	1,614	1,460
繰延税金資産	3,417	3,075
差入保証金	26,774	56,773
その他	413	253
投資その他の資産合計	32,337	61,912
固定資産合計	36,466	65,589
資産合計	339,862	392,594

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	54,254	63,473
1年内返済予定の長期借入金	1,348	1,880
未払金	18,217	19,900
未払費用	1,915	1,493
未払法人税等	1,525	4,356
預り金	139,094	160,842
賞与引当金	1,389	972
ポイント引当金	359	981
株式報酬引当金	91	276
その他	6,525	5,592
流動負債合計	224,722	259,769
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	50,000	50,000
長期借入金	25,749	36,750
退職給付に係る負債	75	40
資産除去債務	126	126
繰延税金負債	162	156
その他	1,028	605
固定負債合計	77,141	87,678
負債合計	301,864	347,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,628	45,432
資本剰余金	44,582	45,386
利益剰余金	△53,757	△48,701
自己株式	△0	△0
株主資本合計	35,453	42,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	3
繰延ヘッジ損益	—	△73
為替換算調整勘定	1,303	1,434
その他の包括利益累計額合計	1,303	1,364
新株予約権	926	1,020
非支配株主持分	314	644
純資産合計	37,998	45,146
負債純資産合計	339,862	392,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	109,701	127,913
売上原価	38,008	44,314
売上総利益	71,692	83,598
販売費及び一般管理費	76,378	72,069
営業利益又は営業損失(△)	△4,686	11,529
営業外収益		
受取利息	36	314
還付消費税等	21	—
補助金収入	—	126
その他	28	74
営業外収益合計	87	514
営業外費用		
支払利息	97	135
為替差損	44	164
社債発行費	11	—
その他	0	12
営業外費用合計	154	311
経常利益又は経常損失(△)	△4,753	11,732
特別利益		
投資有価証券清算益	16	—
新株予約権戻入益	—	2
その他	1	—
特別利益合計	17	2
特別損失		
固定資産除却損	51	—
投資有価証券評価損	82	54
リース解約損	—	519
解約違約金	—	114
その他	—	70
特別損失合計	133	758
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,869	10,976
法人税等	2,779	5,985
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,649	4,990
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	59	△65
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,708	5,056

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△7,649	4,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	3
繰延ヘッジ損益	—	△73
為替換算調整勘定	552	130
その他の包括利益合計	552	61
四半期包括利益	△7,096	5,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,155	5,117
非支配株主に係る四半期包括利益	59	△65

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年7月1日 至 2022年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	Japan Region	US	計				
売上高							
外部顧客への売上高	74,455	30,934	105,390	4,310	109,701	—	109,701
セグメント間の内部 売上高又は振替高	289	—	289	690	980	△980	—
計	74,745	30,934	105,680	5,001	110,682	△980	109,701
セグメント利益又は損 失(△)	11,061	△9,748	1,312	241	1,554	△6,240	△4,686

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツビジネス事業等を含んでおります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年7月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	Japan Region	US	計				
売上高							
外部顧客への売上高	89,880	34,085	123,966	3,947	127,913	—	127,913
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	960	960	△960	—
計	89,880	34,085	123,966	4,907	128,874	△960	127,913
セグメント利益又は損 失(△)	25,987	△7,628	18,359	△248	18,111	△6,581	11,529

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツビジネス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「マーケットプレイス関連事業」の単一セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「Japan Region」及び「US」に変更することといたしました。

これは、日本事業全体の戦略性をより強化し、更なるグローバル展開を推進するため、2022年1月1日に新経営体制に移行し、2022年7月1日より経営管理区分を変更したことによるものです。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。